

志小安全・防災だより



H30.9.18 No.22
安全・防災担当：早坂 潤

9月11日、業前の安全タイムより！

この日は、昼休みに竜巻を想定した避難訓練が行われる日で、業前の15分の中で、避難訓練に向けた「安全タイム」が行われました。6年2組では、担任の齋藤康貴先生が、最近の異状気象のこと、そして、今大惨事となっている北海道の厚真町が現在どのような状況になっているのかを新聞記事等を基に説明していました。大きな被害につながってしまった原因を康貴先生から子どもたちが問われると、異状気象がもたらしている豪雨、温暖化が原因という



声が聞こえ、子どもたちが日頃のニュース等で話題になっていることに目を向けている様子が伝わってきました。この後、台風の影響で関西空港に衝突したタンカーの話で「高潮」のことが話題となり、「高潮」とはどのような波なのか、どのような危険をもたらすかを学んでいました。業前の短い時間ではありましたが、避難訓練をする意義を子どもたちは十分につかめたことと思います。

～ 竜巻想定避難訓練が行われました ～

天候が落ち着かない毎日の中、竜巻を想定した避難訓練が行われました。清掃中の午後1時に竜巻警報が発令され、そこから教室内の安全な場所への避難、その後に、体育館地下通路への避難を行いました。地下通路には全校の子どもたちが入ることができますが、だれかがおしゃべりをし出すと声が大きく響き、指示が伝わらなくなるという心配もあります。しかし、この日は、緊急放送をしっかりと聞き、誰も慌てることなく訓練に臨むことができました。先日、NHKで「緊急報告、北海道激震」という番組が放送されていましたが、北海道で起こったことは、現在全国どこでも起こり得ることであり、いつ、どのような方法でどのように避難するかを真剣に考えていくことの必要性が強く語られていました。今後も、自然災害に対する知識をしっかりとらせ、子どもたち一人一人が安心・安全な生活を意識できるようにしていきます。



体育館通路に避難する際も、素早く整列をし、誰一人としてふざけることなく真剣に取り組むことができました。春から何度か避難訓練を行ってきましたが、訓練に対する真剣さに、いつも感心させられます。



※ プリントでお知らせしましたとおり、校地内の仮設住宅撤去工事のため、17日（月）より学校への登り口が通行止めとなりました。よろしくお願いたします。